

研究課題名	放射線性出血性膀胱炎に対する猪苓湯合四物湯の効果に関する後方観察研究
研究の意義・目的	骨盤内の放射線治療が原因の「放射線性出血性膀胱炎」は放射線治療の合併症のなかでも治療が難しいもので、症状としては血尿や膀胱刺激症状があります。症状が重くなると外科的な対応が必要なこともあり、患者さんの生活の質（QOL）を損なう原因にもなります。そこで、慢性化した排尿困難、排尿痛、残尿感、頻尿などに用いられている「猪苓湯合四物湯」が処方された患者さんの、放射線性出血性膀胱炎に伴う血尿に対するこのお薬の効き目を、カルテの情報から検討したいと考えています。もし、このお薬が効き目があるとわかれば、今後同じような症状で困っている患者さんの役に立つと考えられます。
研究を行う期間	倫理審査委員会承認後～2021年12月31日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2017年1月～2019年12月に大阪市立大学医学部附属病院の泌尿器科で、放射線性出血性膀胱炎の治療のために、猪苓湯合四物湯を処方された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【治療歴、診断名、年齢、性別、治療開始日、治療終了日、血尿の有無】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 研究責任者 玉田 聡
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 （担当者氏名）玉田 聡 電話番号：（06）6645-2121（代） メールアドレス：s-tamada@med.osaka-cu.ac.jp